

新型コロナウイルス感染症流行時における小児への予防接種について 第2報

日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会

1. 国内における状況

2020年春に、国内で新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）の流行が始まった当初は、1歳の時に接種される4種混合ワクチンの第1期追加接種、麻しん風しん混合（MR）ワクチン第1期の接種率はやや減少し、3歳以降で接種されるMRワクチン第2期、日本脳炎ワクチン、2種混合ワクチン（DT）の接種率は例年より明らかに低下していました¹⁾。その後、日本小児科学会をはじめとした多くの関連学術団体、地方自治体、厚生労働省などが、COVID-19流行下であっても通常の予防接種を継続することの重要性を啓発した結果^{2) 3)}、国内における予防接種率は速やかに回復いたしました。

麻疹を例に挙げると、MRワクチン第1期の接種率は、COVID-19流行前の2018年度の接種率が98.5%で、47都道府県すべてで95%以上の接種率を達成したのに対し、COVID-19の流行初期を含む2019年度の接種率は95.4%に低下し、19道府県で95%未満となりました⁴⁾。2020年度は再び98.5%に上昇し、95%未満は1県のみとなりました⁴⁾。国内における麻疹報告数は、2019年が744例であったのに対し、2020年、2021年はそれぞれ13例、6例と排除状態を維持しています⁵⁾。本邦では2015年に麻疹を排除できましたが、排除状態の維持には95%以上のワクチン接種率が必要とされており、今後もワクチン接種率の維持が必要です。

2. 海外における状況

World Health Organization (WHO)の調査によると⁶⁾、2020年5月の時点で、世界の57か国で105のvaccine preventable diseases (VPD)に対するワクチン接種キャンペーンがCOVID-19の流行を理由に延期され、その結果約8億回のワクチンが延期または接種機会を失ったと推定されています。そのような状況は近年、徐々に改善されていますが、2021年12月の時点においても主にアフリカ地域において、54か国で77のワクチン接種キャンペーンが延期され、約3.8億回のワクチンが依然として延期または接種機会を失っている可能性があります。その結果、WHO/United Nations Children's Fund (UNICEF)は、世界において2022年2月の時点で、2021年同時期と比較して、麻疹の発生率が78%増加したと報告しています⁷⁾。実際に、麻疹含有ワクチン接種率が低下しているナイジェリア、インド、ソマリア、エチオピア、パキスタンなどで麻疹のアウトブレイクが発生しており、米国Center for Disease Control and Prevention (CDC)は世界のあらゆる地域から麻疹が持ち込まれる可能性があるとして警告しています⁸⁾。

さらに、COVID-19流行との因果関係は不明ですが、アフリカ南東部に位置するマラウイと隣接するモザンビークのそれぞれにおいて、2021年11月と2022年3月に野生型ポリオウイ

ルスによるポリオ患者が報告されました⁹⁾。両国とも長らくポリオ患者の発生はありませんでしたが、ポリオワクチンの接種率が低く（70%台）¹⁰⁾、今回の発生に至った可能性があります。

3. 今後の対策

国内においても、COVID-19の流行以降に激減していた国境を超えた人流の再増加が始まっており、海外でアウトブレイクしているVPDが持ち込まれる可能性は容易に予想されます。前項で例に挙げた麻疹やポリオだけではなく、成人男性への第5期定期接種率が低迷している麻疹に関しても再流行に注意が必要です。また、2014年に定期接種化された水痘および、任意接種のままとなっているおたふくかぜなどはCOVID-19流行後に定点あたり報告数が減少しており、結果として免疫を持たない人が潜在している可能性もあります。以上より、COVID-19流行時においても小児への予防接種を安定して継続することが重要です。

参考文献

1. Aizawa Y, Katsuta T, Sakiyama H, Tanaka-Taya K, Moriuchi H, Saitoh A. Changes in childhood vaccination during the coronavirus disease 2019 pandemic in Japan. *Vaccine* 2021; 39:39(29): 4006-12.
2. 日本小児科学会. 新型コロナウイルス感染症流行時における小児への予防接種について. 2020: http://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=345.
3. 診療の手引き検討委員会. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 診療の手引き・第 8.0 版. 2022: <https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>.
4. 国立感染症研究所. 令和2年度麻疹風しん定期予防接種の実施状況の調査結果について. 2021: <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/655-measles/idsc/10806-01-2020.html>.
5. 麻疹累積報告数の推移 2014~2021年(第1~52週). 感染症発生動向調査(IDWR) 2021: <https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/2021pdf/meas21-52.pdf>.
6. Ho LL, Gurung S, Mirza I, et al. Impact of the SARS-CoV-2 pandemic on vaccine-preventable disease campaigns. *Int J Infect Dis* 2022; 119: 201-9.
7. World Health Organization. UNICEF and WHO warn of perfect storm of conditions for measles outbreaks, affecting children. 2022: <https://www.who.int/news/item/27-04-2022-unicef-and-who-warn-of-perfect-storm-of-conditions-for-measles-outbreaks-affecting-children>.
8. Center for Disease Control and Prevention. Global Measles Outbreaks. 2022: <https://www.cdc.gov/globalhealth/measles/data/global-measles-outbreaks.html>.
9. World Health Organization. Statement of the Thirty-second Polio IHR Emergency Committee (2022. 6. 24): <https://www.who.int/news/item/24-06-2022-statement-of-the-thirty-second-polio-ihr-emergency-committee>
10. World Health Organization. Wild poliovirus type 1 (WPV1) - Mozambique (2022. 6. 23): <https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/2022-DON395#:~:text=According%20to%20the%20WHO%20and%20UNICEF, respectively%20in%20Mozambique%20in%202020>